

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名： 久御山町

プロジェクト名	誰もが住みよい安心・安全なまちづくりプロジェクト		実施期間	H27～H31	テーマ	まちの安心・安全	新規・継続の区分	新規・継続の区分	継続（一部新規含む）
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>防災面については、昨今、日本各地で様々な災害が発生している中で、本町においては、宇治川と木津川の大きな河川に挟まれた低地である地形上、水害に対する危機管理が常に求められているのが現状である。そのためにも、町内河川の治水対策をはじめとした減災対策はもちろんのこと、災害発生時における避難体制の整備など万全の備えが必要不可欠である。また、防犯面においては、大型商業施設がまちの中心地にある中で、犯罪件数が増加しており、交通安全対策面においても、国道1号線等の道路網も発達しており、交通事故が発生しやすい状況の下、両方の対策が求められている。</p>								
プロジェクトの目的及び概要	<p>安心で安全なまちづくりのため、減災に向けての防災対策と、犯罪抑制のまちづくりを進めることを目的とする。また、防災面については、自主防災組織（自治会等）の活動支援に対する強化や消防団の活動時における資機材を充実させる。また、減災対策として、町内の内水排除の治水対策を図る。また、防犯面については、地域の見守り隊への支援や防犯カメラの設置、交通安全灯のLED化を進める。</p>								
	総事業費（千円）	461,060	本年度事業費（千円）	29,736	交付金額（千円）	11,952			
プロジェクトを構成する事業の平成29年度事業実績(出来高数値等)									
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）			
市町村 実施事業	地震対策推進事業 (公会堂等耐震改修補助)	交付対象事業	災害時に備えて、町内の公会堂等の耐震化を促進するため、公会堂等の耐震化に対する補助を行った。			公会堂等耐震改修補助：3件（耐震診断）			
	地域防災対策事業	交付対象事業	防災会議の開催、防災パトロールの実施、避難案内看板の修繕を行った。また、防災行政無線の保守管理を行うとともに、情報伝達手段整備実施設計を行った。			防災会議：1回開催 防犯パトロール：1回開催			
	防災用資機材等整備事業	交付対象事業	必要な資機材の整備・点検を行うとともに、避難所等での住民に配布する水、非常食などの物品の備蓄・更新を行った。			飲料水：50箱（1箱24本入り） 備蓄食糧（カロリーメイト）：30箱（1箱60個入り） 福祉避難所用備蓄物資（エアーマット）：20個			
	防犯推進事業	交付対象事業	地域の自主的な防犯活動への支援を行うとともに、各種協議会等と連携して広域的な防犯対策の取組を実施した。また、犯罪抑止のための防犯カメラを計画的に設置した。			防犯カメラ設置箇所：2カ所			
	交通安全施設維持管理事業	交付対象事業	安全なまちづくりのため、交通安全施設の適正な維持管理を行うなか、LED交通安全灯への取替えを計画的に行った。			交通安全灯LED化箇所：43件			
	救急救命応急手当普及推進事業	交付対象事業	救命率の向上を図るため、救急・応急処置の普及に努めるとともに、普通救命講習を開催した。また、町内のコンビニエンスストアにAEDを設置した。			普通救命講習：15回開催、参加者325名 応急手当講習会：13回開催、参加者365名 町内コンビニエンスストアAED：16台			
	救急救命活動事業	交付対象事業	迅速な救急救命を行うにあたり、救急救命資材の購入及びプレホスピタル・ケアの充実を図った。			救急救命経費・救急活動資材購入 医師24時間常駐の指示センター方式の活用			

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名： 久御山町

	消防機械器具等整備事業	交付対象事業	迅速な消防・救急活動を行うため、消防機械器具や救急活動資機材の適正な管理と更新並びに増強整備を行った。	消防機械器具等の整備 ・小型消防ポンプ搬送車購入：2台 ・消防器具庫改修：2件	
	指令装置等維持管理事業	関連事業	緊急通報装置の維持管理を行った。	デジタル無線保守点検、指令装置賃貸借等	
	排水路等改修整備事業（内水排除対策）	関連事業	町内で想定される浸水被害の解析を実施し、被害を解消するための内水排除対策の検討を行った。	内水排除対策検討業務	
住民協働事業	自主防災組織活動支援事業	交付対象事業	災害時における地域住民の迅速な避難や対応が図れるようにするため、各地域に自主防災組織を設置し、その活動支援を行った。また、自主防災活動を行うため、自治会が必要となる資機材の購入に対し補助を行うとともに、地域の防災リーダーの育成に向けて、研修会を開催した。	防災・防犯活動事業補助：9件 自主防災リーダー研修会：参加者32名	
	消防団消防操法訓練事業	交付対象事業	消防団員の消防活動に対する士気の高揚や技術の向上を図るため、小型ポンプ操法訓練等を行い、町長査閲消防団消防訓練大会を実施した。	町長査閲消防団消防訓練大会：参加者1,188名（延べ人数）	
	消防団員訓練・研修事業	交付対象事業	消防団員の知識と技術の向上を図るため、各種訓練や研修等を行った。	消防学校研修参加：参加者5名	
	火災等予防推進事業	交付対象事業	住民の防火意識を高めるため、住民や事業所に対して、集団防火指導や消火器の取扱訓練を実施し、防火意識の啓発、防火安全対策の徹底を図った。	集団防火指導：7自治会、参加者184名（延べ人数） 消防訓練指導：85事業所、参加者7,182名（延べ人数）	
	交通指導員、パトロール員配置事業	交付対象事業	児童生徒登下校時における交通指導員、安全パトロール員を配置した。	交通指導員：9名 安全パトロール員：6名	
成果指標①	成果指標の目標数値	消防訓練参加者数：8,000名		成果指標の実績値 (平成30年3月31日時点)	参加人数：7,366名
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	消防訓練参加者数については、ほぼ目標値を達成できた。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標②	成果指標の目標数値	防犯カメラ設置箇所：10ヵ所		成果指標の実績値 (平成30年3月31日時点)	設置箇所：10ヵ所
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	毎年、2ヵ所ずつ設置していく計画のなかで、成果指標の目標を達成することができた。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名： 久御山町

成果指標 ③	成果指標の目標数値	交通安全灯のLED化：43灯		成果指標の実績値 (平成30年3月31日時点)	43灯	
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	計画どおり、交通安全灯をLED灯に更新できた。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
<p>本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果</p> <p>※未達成の場合も効果を記載すること</p>	<p>防犯カメラの設置については、毎年、計画的に設置していく中で、犯罪抑止に寄与することができた。また、消防訓練・集団防火指導については、従前から事業所・自治会向けに開催しており、特に事業所独自で実施しているところも増えている。しかし、成果指標に近づけるためにも、今後とも事業所・自治会に呼びかけを行い参加してもらうよう働きかける。</p> <p>さらに、交通安全灯のLED化については、計画的にLED灯に更新することができ、安心して安全なまちづくりに寄与することができた。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。</p>					
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	関連事業である排水路等改修整備事業により、内水排除対策の検討を行うことができ、このことが安心して安全なまちづくりの推進につながった。				
	府と市町村等との連携に資する成果					
	住民の自治意識を高める成果	自主防災リーダー研修会により町内の防災リーダーを育成し、集団防火指導、消防訓練指導を実施することにより、住民の防災に対する意識が高まった。また、消防団の訓練活動により、消防活動に対して技術向上に努めた。 さらに、登下校時における交通指導員や安全パトロール員を配置することにより、地域で子どもを見守るという意識を向上させることにつながった。				
	リーディング・モデル成果	災害時において食糧や備蓄物資の確保のため、民間企業との応援協定を結んでいる。				
	広域的波及成果	普通救命講習会や応急処置講習会を開催し、地域の団体や組織、企業等の中で、応急手当普及員を養成することにより、町内での救命率の向上が図られる。				
	行財政改革に資する成果	交通安全灯をLED化することで、安全なまちづくりだけでなく、コスト面の削減も図ることができる。				
	その他の成果					

(記載要領)

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。